

お世話好きお姉さんと1日だけの秘密のデート

○登場人物

まひる

困っている人がほっておけない世話好きのお姉さん。

(まひる)と表記されているセリフは心の中の声

第1章 感じる視線

一電車の中

(まひる) (あくび)はあーはあー、すっごく眠いなー。こんなに天気がいいのになーんで朝から出かけなくちゃいけないんだろー。毎日毎日こんな朝早くから、ぎっしり人が詰まった電車に揺られてさー。でもまあわたしは座れたから立って乗ってる人よりかは楽チンなんだけどねー。

(まひる) ん？　なんかさっきから視線を感じるような……？　なんかさっきから前に立ってる男の子がこっちを見てる気がするな……？　気のせいかなー？　あれ？　やっぱり今こっち見た！　なんでだろう？　あ、もしかして顔になにかついてたり……、うん、なんにも付いてない。じゃあ、わたしが知り合いに似てて人違いしてるのかな？　でもそういう感じの見た方じゃないような……。あ！　ははーん、もしかして、わたしに一目惚れしちゃったんだな！　きっとそうだよ！　なんだか顔も赤みがかってるし、照れてる感じの表情だしね。まったくかわいい男の子だなあ。でもね、ごめんね。たしかに君は可愛らしい見た目で好みじゃないわけじゃないけど、今日会ったばかりの見ず知らずの男の子の愛には応えられないのよ……。

(まひる) うーん、でもなんか顔を見てるっていうより、ちょっと視線が下のような……。
って、やだ！ この子Tシャツの隙間からわたしのおっぱい覗いてるんじゃない！
確かに着すぎて胸元がゆるゆるになってるTシャツで覗きやすそうだけど。き
っとそうだ、さっきから何気なく背伸びしてるし！ こんな可愛らしい顔して電
車のなかで女子の胸をチラ見する変態覗き魔だったなんて！ でもまあわたし
はお姉さんだから怒ったりしないであげる。でも流石に気づいた後も見せ続ける
のも恥ずかしいからここまでね。君もつまらない日常の中のラッキーズケベだっ
たと思ってじっと思い出を噛み締めてね……。ってこの子、胸元抑えた途端、す
っごい悲しい顔してる……。それになんとか妙に上気してるような……。

(まひる) 胸隠したら今度はこの子ったら体を近づけてきた！ こっちは座ってるから股
間が目の前にくるんですけど……。あ……。この子ったら電車の中なのにおちん
ちん勃起させてる……。しかもズボンの上からでもはっきりわかるほどおちんち
んカチカチにしているじゃん……。わたしの胸をちらっと見ただけでこんなになっ
ちゃってるの！？ この子キュートな雰囲気なのにおちんちんはすごい男ら
しいんだね……。こんなの見せられちゃったら、なんだかわたしもエッチな気分
になってきちゃうじゃない……。それにこの子ったら小動物みたいな切ない顔し
て……。もう！ そんな顔して見つめられちゃったらほっておけなくなっちゃう
じゃん！ 困ってる子を見つけたら助けてあげるのがお姉さんの役目だから
ね！

ー主人公の右耳から

まひる　ねえ？　君、もう我慢できないでしょ？　次の駅に着いたらお姉さんと一緒に降りよっか？　こんなにおちんちん勃起させちゃって……、もう我慢できないでしょ？　わたしのおっぱいちらちら覗いてたの気づいてたんだからね。大丈夫、心配しないで、痴漢で捕まえようとしてるわけじゃないから。もし一緒に来てくれたら、お姉さんが、この限界までぎんぎんになってるおちんちん、気持ちよーくしてあげる……。顔真っ赤だね。お姉さんがエッチなことしてる姿想像しちゃったかな？　それにしても電車の中で女の人のおっぱいを見ようとするなんてきみはエッチな男の子なんだね。でも、わたしのおっぱいなんて小さめなのに……。きみはちいさなおっぱいが好きなのかな？　あ、そろそろ駅に着くね。はぐれないように、手、繋いで。はい。ほら行くよ……。

まひる　そんなに心配しなくても大丈夫。この駅は降りる人も少ないし、そもそもこっちの出口を使う人はあんまりいないから誰にも見られないよ。早くトイレに入ろう。ほら、早く。

まひる　中に誰もいなくてよかったね。でも流石に二人で個室に入ると狭いね……。

ー主人公の左耳から

まひる　でもきみはお姉さんと近づけて嬉しいのかな？　ふふ、ドキドキしてるのわかるよ。早く気持ちいいことしたい？　いいよ。かわいい君が困ってるんだもんね。お姉さんが助けてあげるよ。きみが、わたしのおっぱい覗いて興奮して大きくし

ちゃたこのおちんちん、お姉さんがすっきりさせてあげるからね……。じゃあズボン脱がすね……。

一元に戻る

まひる わあーすっごくたってる……。もうパンツが破けちゃいそうだね……。それにさきっぽからいやらしいお汁(おしる)があふれててシミになっちゃてる。おもらししちゃったみたいだね……。すーすー(匂いをかぐ)は一、お汁からエッチな匂いもしてる……。早くしないと、このトイレ中がきみの匂いで充満しちゃうそうだよ……。パンツ、脱がせるよ。すっごいカチカチのおちんちん……。しかもお汁でテカテカでいやらしい……。お口でしてあげるね……。ちゅっ、ちゅっ、れろれろ、ちゅっ、れろっ、れろっ、れろれろ、さきっぽからお汁がどんどん溢れてくる……。あむんっ、んんっ、ん、ん、んあ、ちゅっ、ちゅっ、ずちゅっ、ずちゅっ、えろえろんっ。はあ、はあ……。

一主人公の左耳から

まひる きみのおちんちん本当にエッチなんだね。お口でしゃぶってる間もどんどん、大きくなって……。こうしてわたしで手できみのおちんちんシコシコしてる時もどくどくいってる……。フェラチオされるのと手コキされるのどっちが好きなのかな？それともどっちが気持ちいいかもわからなくなっちゃうくらい興奮してるのかな？だってきみ顔も真っ赤でぼーとしちゃってて、すごいいやらしい顔になってるんだもん。あ、もしかして女の子にエッチなことされるの初めてなのかな……。そっか、じゃあちょっと悪いことしちゃったかな、今日初めて会ったばっかなのに、きみのおちんちんをしゃぶっちゃったりしちゃって。でもきみが悪いんだよ、人が周りにいる中でわたしのおっぱいを覗いて、しかもこんなにギンギンになったおちんちんをみせつけられたら我慢なんてできないよ。きみだってそうだったでしょ……。？おちんちん、脈打っ

てきたね、もう我慢できない？ わかった、射精させてあげる。最後はどうしたい？ そっか、口に出したんだ。わたしにきみのエッチな精子を飲んで欲しいんだね。きみ、初めてなのにいやらしいことさせるね。いいよ、フェラしてあげるから思いっきりわたしの口に射精していいから。

一元に戻って

まひる　ちゅっ、ちゅっ、れろんっ、れろれろ、んん、ん、ん、ちゅぷっ、ちゅぷ、ちゅぷちゅぷ、んっ、んん、ん、ん、んん、どう？気持ちいい？遠慮せずにいっぱい出していいからね。あむっ、ん、んん、んっ、ん、ちゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅぷちゅぷ、ん、んん、ちゅぱっ、れーろんっ、れろれろ、ちゅっ、れろれろんっ、ちゅっ、ちゅぷっ、もっと激しくするから、いっぱい気持ちよくなって！　あむんっ、じゅぷじゅぷ、じゅぷじゅぷっ、ちゅぱっ、れろれろ、れろれろっ、ちゅぷちゅぷ、じゅぷじゅぷ、じゅっぷじゅっぷ、じゅずじゅずじゅずじゅず、じゅ、じゅじゅず、ずちゅずちゅ、おちんちんっ、ドクドクしてきたっ、もう出ちゃうんだね。きて、わたしの口の中に君の精液いっぱい注ぎ込んでっ。じゅずじゅず、じゅじゅーっ、じゅずじゅず、じゅずじゅず、じゅぱっじゅぱっ、じゅ、じゅ、ん、ん、じゅずじゅず、じゅずじゅず、じゅ、じゅ、じゅ、ん、んん、んんんー！

まひる　ん、んん、ふごい濃いへいし(すごい濃い精子)……。えー(口を開ける)、こんはにではへ(こんなに出たね)。ん、ん、ごくん……。はあ、へへ、きみの精子全部飲んじゃった。全部出し切ってスッキリした？　そっか、それなら良かった。わたしもきみのたくましいおちんちんを気持ちよくできて嬉しいよ。

まひる　きみはその後どうするの？　電車に乗ってたってことはどこかに行く予定があるんでしょ？　ねえ？　良かったら今日一

日だけお姉さんとデートしない？ わたしきみのこと気に入っちゃった！ それに……、きみのいやらしいおちんちんと
もっといっぱいエッチなこと、したいな！ ね？ いいでしょ？ いいよね！ じゃあ、とりあえず駅から出てみよ！

第2章 誰も見てないから

ー外に出て

ー主人公の右耳から

まひる デートって言ってもきみもわたしも降りたことがない駅だからなにがあるかよくわからないね。どうしよっかー。

ー主人公に接近して

まひる それとも……、いまからラブホテルに行って一日中お姉さんとエッチなこと、しょうか……？ きみのおちんちん、頑張れそう？ ふふ、照れてかわいいなあ、もう。

ー元に戻って

まひる ホテルに行くのもいいけど、せっかくかわいい年下の男の子と出会えたんだから普通のデートもしたいなーって。あっ、向こうに大きめの公園があるね。ちょっと行ってみよっか。公園に行くのって普通のデートっぽくて楽しそうじゃない？ そうだ、ほら、手、出して。せっかくだから手繋ぎながら歩こうよ。はい。きみの手小さくてかわいいー。それにすべすべ。ぎゅってしたくなるよ。じゃあ行こうか。

ー公園

まひる 緑がたくさんあって空気が美味しいね。それにこの時間だと人もほとんどいなくて貸切みたい。こんなところでゆっくりするのもいいよね。ちょっと公園を一周してみようか。

ー主人公の右耳から

まひる ねえ、見て見て、向こうには池がるし、あっちには花壇があるよ。結構この公園って広いみたいだね。まだ先があるみたい、行ってみよ。

まひる いっぱい歩いたね。ごめんね、ちょっと疲れちゃったよね。きみいたいなかわいい男の子と公園でデートしたことなんてないからお姉さんはしゃぎ過ぎちゃったよ。あ、あそこにベンチがあるから、座って休憩しようか。

まひる ふう、ごめんね。わたしだけ楽しんじゃったみたいで。え？ きみも楽しんできたの……？そっか、それならよかった。これからどうしよっか。そろそろお腹も空いてきたしご飯でも食べに行く？それとも……ってきみ、エッチなこと考えるでしょ。顔見たらわかるよー。ホテル、行きたいの？ そっか、そんなに期待してる顔されたら断れないじゃない。今日だけわたしはきみの彼女だからね。エッチなことも好きなだけしてあげる。あ、ちょっと待つて。

ー主人公の左耳から

まひる このあたり、誰もいないね……。ここでエッチなこと、しちゃおっか。恥ずかしい？それとも想像して興奮してきちゃっ

た？あれ？おちんちん大きくなってね。外でいやらしいことするのを想像しちゃったんだね。おちんちん触っただけでビクンってなったよ。触られただけでも気持ちいいんだね。おちんちんすごく熱い……。チャック降ろしておちんちん出すよ。もうこんなに勃起してたんだ。どう？外でおちんちんだしてるのは？気持ちいい？

ー主人公に近づいて

まひる 最初は手でしてあげる。わたしの手コキ、気に入ってくれたみたいだね。腰動いちゃってるよ。もしかしてすぐ出ちゃいそう？このあともっと気持ちいいことしてあげるから、もうちょっと頑張って。手できみのおちんちん触ると形がはっきりわかる……。かりがすごく張っててごつごつしてる。それに太くてたくましい。こんなに凶暴なおちんちん、手で触ってるだけでわたしも興奮しちゃう……。あ、先っぽから我慢汁がトロトロ出てきた。我慢汁がローションみたいになって手でこするたびにクチュクチュいやらしい音がしちゃうね。誰かに聞かれたらどうしよっか。それできみのおちんちんがしごかれてるのを見られたりしたら大変だね。あれ？いま、おちんちんビクッてしたよ。ふふ、もしかして知らない人に見られながら手コキされることを考えて感じちゃったの？きみって結構変態だね。お姉さんはエッチな男の子はだーすきだよ。次はどうして欲しい？このまま手コキで射精したい？それともまたおちんちんしゃぶってほしい？うん、わかった、フェラすればいいんだね。

ー元に戻って

まひる おちんちん、舐めるよ。おちんちん舐めてる姿なんて見られたら、もう言い訳なんてできないね……。あむんっ、ん、ん、ちゅっ、ちゅぷ、ちゅぷちゅぷ、あむ、あむ、ん、んん、ちゅ、ちゅぷっ、れろんっ、れろれろ、ちゅ、ちゅぷ、き

みのおちんちん大きいから舐めるのも大変だよお。れろ、れろっ、れろれろっ、……ちゅぷっ、ちゅぷ、ちゅい、ちゅぷちゅぷ、ちゅすい、ちゅじゅ、ちゅじゅ、ちゅじゅっ、わたしのフェラ気持ちいい？ちゃんと感じてくれてる？ちゅぷ、ちゅぱちゅうぷ、……れろっ、れろれろっ、ちゅっぷっ……。いまビクツとしたね。ふふ、きみはおちんちんの裏を舌でぺろぺろってされるのが一番感じるんだね。かわいい。いっぱいおちんちん舐めてあげるね……。れろんっ、ちゅぷっ、ちゅぷっ、ちゅぱ、れろんっ、れろれろ、ぺろっ、ぺろぺろ、ちゅぷっ、れろれーろんっ、えろえろ、ちゅっ、れろ、れろれろ、ちゅ、ちゅちゅー、ちゅぷっ。すごい気持ち良さそうな顔してるよ……。いっぱい感じてくれてるんだね、さきっぽからエッチなお汁がとくとく溢れ出てきてる……。舐めても舐めてもなくなるらないよ。ちゅ、ちゅぱっ、れろれろ、えろっ、えろえろ、れろれろ、ちゅぷ、ちゅぷちゅぷ、ちゅ、ちゅ、ちゅっ、れろれろ、れろれろ、れーろ、えろ、れろんっ、れろれろ。息、荒くなってきたね。もう精子出しくなってきた？我慢できない？

ー主人公の右耳から

まひる 射精するのはもうちょっと我慢して、今度はもっとエッチに射精させてあげるから……。ねえ見て、わたしのパンツ……。きみのおちんちん舐めてたらおまんこからいやらしい汁(しる)が溢れてきて、パンツこんなに濡らしちゃった……。きみの上に跨って、このぐっしょり湿ったパンツ越しに、素股するね。手コキともフェラとも違う気持ち良さがあると思うから。じゃあまたがるね……。ん、んん、きみのおちんちんにおまんこが触れただけなのにすごい熱い……。パンツ一枚挟んできみのおちんちんとわたしのおまんこがくっついてていやらしいね……。こすりつけたらどうなっちゃうんだろう。それにきみとこんなにくっついたもの初めてだね。顔が近いと照れちゃうかな？でもこうしてくっついてると本当の恋人同士っぽくていいでしょ？

まひる 腰、動かすね。きみは動かないでそのままでいいから、きもちよくなってがまんできなくなったら、わたしのことはきにしないで多ippkiri精子かけていいよ。ん、あっ、ん、あんっ、おまんこでもきみのおちんちんの形しっかり伝わってくる。どう？きみはわたしのおまんこ感じられてる？んっ、あ、ああ、あんっ、あんっ、あ、ああ、きみの我慢汁とわたしのマン汁がまざってびっしょりになっちゃったね。音もぐちゅぐちゅいってすごいね……。あっ、あっ、あっ、ああ、あんっ、んっむん、あ、あ、あ、きみとわたしのエッチな音、誰かに聞かれちゃうかもねっ、あっ、あっ、あっ、あ、あ、あ、あん、あふう、あ、あ、きみ、顔では照れてるのに、おちんちんはどんどん硬くたくましくなってくるね……。あ、ああ、ああ、ああああ、あんっ、あ、あああんっ、きみのおちんちんのさきっぽがわたしのクリトリスこりこりってしてくるうっ……。

ー主人公の左耳から・接近して

まひる あっ、あっ、あっ、あ、あああ、あああっ、あんむっ、あん、もっと気持ちよくするためにパンツずらして直(じか)にこすってあげる……。

ー主人公の右耳から

まひる 見て……わたしのおまんこ……。きみ女の子のここ、見たの初めてでしょ？初めておまんこ見るのが野外でエッチなことしてるときでごめんね。でも、すごぐいやらしいでしょ。きみのおちんちんがエッチすぎるから奥からお汁(しる)がとろとろ出てきちゃったんだよ……。おまんことおちんちん、くつつけるね……。あああっ、ああっ、さっきよりおちんちんの熱が伝わってくる……。ドクドクうごいてるのもわかるよ。

ー主人公の右耳から・接近して

まひる あ、あ、ああ、あああん、ん、んん、んんふう、ん、ん、あっ、ん、んんん、さっきと全然違うね、直接きみのおちんちんがズンズンくるから、いっぱい感じちゃううっ。きみはどう？わたしの気持ちよ過ぎて勃起したクリトリスがおちんちんの裏側こりこりしてるのわかる？きみのせいでこんなにクリトリスが大きくなっちゃったんだよおっ。ああっあ、あ、あ、あ、あ、あんっ、あっ、ん、んん、んんっ、もうイキそう？いいよ、精子出して。わ、わたしもイキそう、ね、一緒にイコうね……。あ、ああ、あんっ、あ、あ、あ、あ、すごい、きみのおちんちんすごいきもちいいよ。あんっ、あん、ああ、あああ、ああああ、イク、イク、イっく、きみもきて、おちんちん気持ちよくして、わたしのおまんこ存分に使っていっぱい射精してえっ……。あっ、あっ、あ、あ、あ、わたし、イク、外でかわいい男の子と素股してイっちゃう、あ、ああ、あああ、きみは？イク？あああっ、ん、んん、んっふう、ん、ふう、ん、出そうなんだね、精子、わたしのおまんこで、精子、出すんだねっ。

ー主人公の左耳から・接近して

まひる きて、出して、あ、あ、ああっ、あっああ、きて、きてきてきて、精子出して、わたしに向かっていっぱい出して、あ、ああ、あ、あ、あ、おちんちん、ビクビクしてる……。出ちゃうんだね、きて、あ、あああ、きてきて、きみのザー

メンお姉さんにかけてっ。あ、ああ、ああ、あ、ああ、ああ、あんっ、あっ、あっ、あっ、あっ、ああ、ああああああ……！！

まひる あ、ああ……。熱い……。はあ、はあ。わたしのお腹にきみのザーメンいっぱい……。こんなに出して……。はあ、はあ。
匂いもすごい、くらくらしちゃう……。きみは気持ち、良かった……。おねえさんものっても感じちゃった。次はホテル
でエッチしようね。まだまだできるでしょ……。ふふっ。

第3章 ようやくホテルで

ーラブホテルに入室

まひる ふー、この時期でも外でエッチなことするにはまだ寒かったね。ホテルに入ったからには好きなだけエッチなことしようね。今日だけの恋人なんだから遠慮しないでいたいことがあったら言ってね。お姉さん、きみの言うことならきいてあげるよ。でもまずは冷えちゃった体をあっためるためにお風呂に入ろう。もちろん一緒にね。

ーバスルーム

まひる さっきまであんなことしてたのに、裸を見られるとちょっと照れるね。きみも恥ずかしいの手でおちんちん隠してるけど。きみのたくましいおちんちんみせてよ。ね？わあ、ちょっと勃ってるね。さっきいっぱい射精したばかりなのにすごいね。じゃあ体洗ってあげるからじっとしてて。最初は頭からね。立ったまま頭洗うとちょうどきみの顔とわたしのおっぱいがちょうど同じ高さになるね。わたしのおっぱい小さめなんだけど、のぞいてたってことはきみはちっちゃいおっぱいが好きなんだよね？

ー主人公の左耳から

まひる あっ、乳首、舌でちろちろしてる……。そんなエッチな舐め方されたら感じちゃうよお……。あっ、あっ、あっ、感じちゃって頭洗えないよ……。あんっ、あ、あ、あ、あんっ、舌でコロコロしちゃ、あっあ、あ、あ、あ、あん、ん、んん、

んふっ、ん、んん、ちゅうちゅう吸ったら、あ、ああ乳首、勃起しちゃうよお。あ、ああ、ああんっ、あ、あ、ああ、あん、あ、あ、あ、あ、あ、も、もう、ほら、頭洗い終わったよ……。きみが激しく乳首しゃぶるからこんなにいやらしく勃っちゃた。でも本当に気持ち良かったよ……。今度はわたしがきみを気持ちよくしてあげるね。そこのいすに座って。

一元に戻って

まひる おちんちん本当にすごいね。何度出してもまだこんなに硬い……。あむんっ、あむ、ちゅ、ちゅちゅ、ちゅちゅーっ、んちゅっ、ちゅぱう、ちゅぱちゅぱ、きみがわたしの乳首にしたみたいに舌でおちんちんの先っぽコロコロするね。れーろんっ、れろれろ、ぺろぺろ、ぴちゅぴちゅ、ちゅぱ、れろれろっ、んれろ、れろれろ、ぺちゃ、ぺろぺろ、ちゅっ、れろれろぺろれろれろ、れろれろ、れろ、ぺろぺろ、ぺろん、ぺろぺろ、ちゅ、ちゅちゅっ、ちゅぱっ……。

まひる 他になにかしてほしいこと、ある……。キス……。してほしいの？そういえばいっぱいエッチなことしたのに、キスはまだだったね。そっかきみはずっとチューしてほしかったんだね。目、つぶって……。

一主人公に接近して

まひる ちゅっ。きみのくちびる柔らかくて気持ちよくなっちゃう。ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……。今度はもっとエッチなチュウしようか。舌、出して。ちゅっ、ちゅちゅっ、ちゅぱっ、れろっ、れろれろ、ちゅっ、ちゅぱちゅぱ、れろんっ、れろれろ、ちゅ、ちゅちゅーっ、ちゅ、ちゅちゅっ、れろでろれろれろんっ、ちゅぱっ……。どう？お姉さんとのチュウ？わたしのくちびるも気持ちいいかな？感じてくれたなら嬉しいな。そうだ、こういうのはどうかな……。 (主人公の乳首を舐

める)ちゅぷっ、ちゅっ、れろれろ、ちゅ、ちゅちゅ、乳首もチュウされると気持ちいいでしょ？ちゅっ、ちゅちゅ、ちゅぱ、ちゅぷ、れろれろ、ちゅぷちゅぷ、ちゅちゅう、ちゅぱっ、きみの乳首も勃起してきたね。反対側の乳首にもチュウしなきゃだね。ちゅっ、ちゅちゅっ、ちゅぱ、れーろ、れろれろ、えろえろ、ちゅっ、ちゅっぷ、ちゅちゅちゅ、れろれろれろ、ふふ、こっちの乳首も硬くなったね。もしかして乳首にチュウされるのも好きなのかな？そろそろ体も冷えちゃうしお風呂に入ろうか。わたしが先に入るからきみはわたしの上に座って。

ー浴槽に浸かって

ー主人公の右耳から・接近して

まひる はい、こっち来て。きみがだーい好きなわたしのちいさめおっぱい、背中に感じるでしょ？きみがいやらしくしゃぶって勃起させられた乳首の感触も伝わってる？コリコリしてるでしょ？きみの背中に乳首擦り付けてわたし、オナニーしてるみたい……。あ、ああ、あんっ、あ、あ、あ、わたし乳首が敏感ですっごく感じるの。だからきみにしゃぶられたとき、すっごく気持ち良かったの……。あっ、あっ、あっ、あんっ、あんん、ん、んん、、んふ、あ、あんっ。わたしばかり気持ちよくなってごめんね。今度はきみを感じさせてあげるね。

まひる 後ろから手コキされるのどう？これまでのとは違うでしょ？無理やりイかせようとしてるみたいで、わたしはちょっと興奮しちゃう。右手できみのおちんちん手コキしながら左手できみの乳首つまんであげるね。チュウじゃなくて手でされるのもいいでしょ？おちんちんも乳首もどんどん硬くなってきた……。後ろから強引に手コキされて感じてるんだね……。気持ちいいんだ。女の子みたいな喘ぎ声も漏れてるよ。もう出ちゃいそう……。じゃあもっと激しくするね。竿(さお)をしごかれるのもいいけど、先っぽをコネコネされるのはどう？これも気持ちいい……。きみの息遣いも荒いし、体もあつ

くなってきた。もう出ちゃうんだね。このままお風呂の中で出しおうね。イって、イって、わたしの手でおちんちんしごかれてイって、乳首を指でつままれカリカリされて感じながらイって、体ビクビクって震えたよ、もう出るんだね、精子、お風呂の中に出しちゃうんだね、ん、ん、ん、イって、イって、私の手コキで思いっきりイってえええっ！

まひる あ、精子出てる……。すごい量……。まだこんなに出せるんだね。きみすごいエッチなんだね。エッチな男の子はお姉さん、大好きだよ。続けてやりすぎてちょっと疲れちゃったよね。もう少しお風呂の中であったまってから出よっか……。こっちむいて、はい、ぎゅーっ。抱き合うと落ち着くよね。しばらくこのままでいよっ。ちゅっ(キス)。

第4章 初セックスはコスプレで

まひる　ねえねえ、見て、こんなのがあったよ。コスプレレンタルサービスだって。せっかくだからコスプレしよかな。きみはどれをお姉さんに着てほしい？制服にメイドさん、体操服、チアガール、チャイナドレス……、たくさんあるね。え？ナース服がいいの？ふーん、きみはこういう服装がすきなんだぁ……。わかった、ナース服着てきみと初セックスしてあげる。

まひる　きみが好きなナース服、着て見たけどどうかな？短かすぎてあそこがチラチラ見えちゃって恥ずかしいんだけど……。かわいい？そういつてくるとわたしもうれしい……。じゃあセックスしようか。ベッドに横になって。

ー主人公の左耳から・接近して

まひる　でもセックスする前にナースのわたしがきみの健康診断してあげる。きみはそのままじっとしてて、わたしが全身にチュウしてきみの体を診察するからっ。(キス)ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ふふ、かわいい。もしかしてキスするのわたしが初めてなのかな？最初の相手になれてラッキーだ。ちゅっ、ちゅちゅっちゅば、ちゅちゅ、ちゅっぱっ、れろっ、れろれろ、れろちゅっ、ちゅ、他のところにもチュウするね……。まずはほっぺに……ちゅっ、ちゅ、ちゅっぱっ、れーろ、れろれろ、ちゅ、ちゅちゅ、ちゅっぱっ、チュウしてるわたしの方が気持ちよくなってきちゃう……。首に……ちゅっ、ちゅ、ちゅちゅっ、ふふ、くすぐったい？ちゅうっ、ちゅちゅう、ちゅちゅ、そのうち気持ちよくなると思うよ……。ちゅっ、ちゅば、ちゅるちゅる、ちゅちゅっ、ちゅっぱっ……。

ー主人公の右耳から・接近して

まひる　今度は胸。ちゅっ、ちゅ、ちゅっ、ちゅ、ちゅっ、ぷちゅっ、ぷちゅっ、ちゅ、ちゅっ。おちんちんヒクヒクしてる……。乳首舐められそうで興奮してるの？かわいい。ちょっと意地悪しかくなっちゃった。まずは、乳輪だけ、れろっ、れろっ、れーろっ。乳首舐めてほしい……。？まだ、だめ。れろ、れろっ、れーろれろ、乳首の周りだけ舐められてせつなくなってるの？うん、じゃあ乳首、舐めるね。あむっ、ちゅっ、ちゅちゅーっ、ちゅぱっ、ちゅちゅ、ちゅぱ、ちゅるちゅるっ、ちゅちゅちゅ、ちゅっぱっ……。今度は反対側の乳首を……。

ー主人公の左耳から・接近して

まひる　ちゅっ、あむんっ、ちゅちゅ、ちゅちゅ、れろれろ、れろんっ、ちゅっ、ちゅぱっ、ちゅじゅっ、ちゅちゅっ、ちゅるちゅる、ちゅっぱっ。ふふふ、どっちの乳首もビンビンに勃ったね。指でカリカリすると気持ちいいの？触ると体ビクンってなってるよ。チュウ続けるね。次は、お腹……。ちゅっちゅっちゅっ、おへそ……。ちゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅちゅっ……。

ー主人公の右耳から・接近して

まひる　最後はおちんちん、ね。全身をチュウされておちんちん大きくしてもう準備万端だね。こんなにいやらしくおちんちん勃起させられるならきみの体は大丈夫だね。お姉さんと初めてのセックスしよ。恋人同士っていてもちゃんとコンドームはつけてもらうからね。そうだ、コンドームって口でもつけてあげられるんだよ。(口でコンドームをつける)んあむっ、

ん、ん、んん、んんん、はあ、きみのおちんちんおっきいから難しかったけどつけられたよ。どう？エッチだったでしょ？
じゃあきみのおちんちんわたしのおまんこにいれるからきみはそのまま横になってて、わたしが上にまたがっていれるからね。

一元に戻って

まひる 下から見られるとスカートの中丸見えになっちゃう……。恥ずかしいけど入れる前によーく見て。きみとチュウしただけでわたしのおまんこ、こんなに濡れてるの。この先っぽのがクリトリスだよ。おちんちんみたいに興奮するといやらしく勃起しちゃうの……。それできみのおちんちんを入れるのが、この穴だよ……。いくよ……。

一主人公に接近して

まひる あっ、ああんっ、おまんこにおちんちんが触れただけで感じちゃう……。あっ、ん、んん、お、おおきい……。んんん、んふ、あ、ああ、おまんこの中グングンおちんちんが入ってくるみたい……。あんっ、んんん、ん、んあっ、あとちょっとで全部……。あっ、あ、あああ、ああん、ん、んんああっ、ああああ、あんっ、はあ、はあ、全部入ったよ。初めてのまんこの感触はどう？おちんちん、おまんこの奥までみっちり……。おまんこ全体できみのおちんちん包み込んでるみたい……。

一元に戻って

まひる 動く、ね……。あっ、あっ、あっ、あっ、痛くない？大丈夫？あっ、あっ、あっ、気持ちいいの？それなら嬉しい。きみの初めてのセックスだもんね。目一杯気持ちよくなって……。あっ、あっ、ああんっ、腰をおろすたびにきみのおちんちんが子宮の入り口ゴツゴツノックして、お姉さんゾクゾクしちゃうとお。あんっ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、もう少し早くするね……。あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、きみが好きなナース服で騎乗位してるよっ、よく見てっ、いっぱい感じてっ、あっ、あっ、ああっ、あんっ、ん、ん、んん、んあああ、あ、あ、ああ、あ、あ、あ、きみのおちんちんわたしのおまんこの中でドクドクいってまた大きくなってる……。感じてるんだね、お姉さんがきみの上にまたがって腰をピストンさせてるので。お姉さんもきみのおちんちんですごく感じてる。腰をあげるとききみの立派なカリがおまんこゴリゴリ削ってきて、すごいつ。はあ、あ、ああ、あ、ああ、あ、ああ、あんっ、んあああ、あ、あ、ああ、あ、あ、あ、あああ、ふう、ふう。

ー主人公の右耳から・接近して

まひる (主人公に抱きつく)んんっ、ぎゅーってきみに抱きついたまま腰だけふるよ。あ、ああ、ああ、あんっ、あああ、あ、あ、あ、さっきとは違うでしょ？あ、あ、あ、あんっ、ああ、ああ、あん、ん、ん、んあ、さっきとどっちが気持ちいい？あ、あ、ああん、あんっ、きみはギュってしたままの方がいいんだね。じゃあこのままの体勢で一緒にイこうね。あ、あ、あ、ああああ、おちんちん、ガンってきたあ、きみの腰ふってわたしのおまんこ犯したいのね。いいよ、わたしのおまんこきみの好きなように突いてきてえ。あ、ああ、あ、ああ、あああ、さっきと全然違うよお。あ、あああ、あんっ、あんっ、わたしイっちゃいそう。子宮がきみがいっぱい突くからあ。初めてセックスするきみのおちんちんにイカされそう。や、いや、一緒にイこう。きみももうイキそうなんでしょ？おまんこギュって締めてきみのおちんちん、もっと気持ちよくするから一緒にイこうね。あ、あ、あ、あ、あ、あ、あふう、ふう、ふう、あんっ、あ、あ、あ、あんっ、んん、んん、ん、

んあ、あああ、あああ、あああ、あん、あ、あ、あ、あ。おちんちんもうイキそうだね。精子出したくっておちんちんドクドクしてるもんね。あ、あ、あ、ああ、あん、あ、あんあん、わたしももうイきたい。あ、あ、あ、あ、あ、きてっ、わたしのおまんこでイって、あ、あ、あ、あ、きてっ、おちんちんきてっ、あ、あ、あ、あ、わ、わたし、もう、イク、あ、あ、あ、イクっ、イクイクイクう、あ、あんっ、あん、あん、あああ、あふう、あ、あ、あ、きて、きてきてきて、あ、あ、あ、あ、あ、あ、す、すごい激しい、もういっちゃいそうなんだね、きて、あ、ああ、あんっ、あ、あ、あ、あ、あああ、あんっ、あ、あ、あ、あああああああ！！

まひる はあ、はあ、あ、あ、精子いっぱい出てる……。ドクドク精子が出てるのコンドームしててもわかるよお……。もう全部出たね。おちんちん、抜くよ……。

一元に戻って

まひる すごい出たね。コンドーム外すよ。見て、すごい量。まだこんなに出るなんて……。これできみも童貞さんは卒業だね。ふふ、(キス)ちゅっ。きみとのセックス本当に気持ち良かったよ。

第5章 本当の恋人のように

まひる おちんちんに残ってる精子フェラできれいにしてあげるね。れろ、れろれろ、ちゅっ、ちゅじゅっ、ちゅじゅ、ちゅぱっ、ちゅっ、れろ、れろれろっ、はい、綺麗になった。あれ？いまのフェラでちょっと大きくなったね。まだセックスしたい？そっか、実はわたしもまたしたくなっちゃったんだ。今度はコスプレじゃなく裸になってしよ。

まひる (主人公を抱く)ぎゅーっ、裸だと肌と肌が触れ合ってたかいね。こっちの方が柔らかくて気持ちいい。(キス)ちゅっ。まさかたまたま電車で乗り合わせたきみとこんなことまでしちゃうなんてね。そうだ、きみはわたしのちいさなおっぱいが気になってのぞいてたんだよね。できるかわからないけどきみのだーい好きなおっぱいでパイズリしてみようか。

ー主人公に接近して

まひる どうかな？おっぱいできみのおちんちんつつめてる？ちょっと足りないかな？え？このままおちんちんこすってほしいの？うん、じゃあやってみるね。ん、ん、ん、どう？おちんちん痛くない？ん、ん、ん、ん、ん、あ、おちんちん勃起してきた。気持ちよくなってくれてるんだあ。ん、ん、ん、おちんちん硬い……。わたしの乳首もおちんちんに擦れて、あ、ああ、気持ちいいよ……。ん、ん、ん、きみが好きなちっちゃいおっぱいでパイズリしてるよ。ん、ん、ん、ん、ん。(フェラ)ちゅっ。ふふ、目の前におちんちんがあるからチュウしちゃった。ちゅっ、ちゅっ、れろ、れろれろ、こういうのパイズリフェラって言うんだよ。気持ちいいでしょ？ちゅ、ちゅぱっ、ちゅ、ちゅ、ちゅっ、れろんっ、れろ、れろ、ぺろぺろ、ぺろぺろ、じゅず、じゅずじゅず、じゅずず、ちゅ、ちゅぱっ、もうビンビンになってる。わたしのおっぱい好き？そっか、おっぱい小さいからいままで褒められたことなかったけど、きみに気持ちよくなってもらえて本当に嬉しいな。ん、

ん、ん、ん、ん、ちゅっ、ちゅちゅー、ちゅば、ちゅるちゅる、ちゅじゅ、ちゅぷちゅぷ、ちゅじゅちゅじゅ、じゅばじゅ
ぱっ、じゅずじゅず、ちゅ、ちゅ、ちゅぱっ……。おちんちんからエッチな汁(しる)出てきたよ……。そろそろ入れよう
か。もうこれが時間的にも最後のセックスになるね……。最後だしコンドームはつけないできみのそのまを受け入れた
いな。いいかな？いいの？本当！？どんな風にしたい？やってみたい体位とかはある？……。後ろから入れたいの？バック
でしたいんだね。わかった。きみの顔が見えないのはちょっと寂しいけど……。きみがしたいことをわたしもしたいから。

まひる わたしおっぱいは小さめだけど、お尻はちょっと自信あるんだ。お尻にどんどん腰を打ち付けていいからね。……。来
て……。あっ、あああ、おちんちんきたあ。すごい、いきなり、そんなっ、はげしっ(激しい)、ん、んん、わたし、さっ
ききみにイカされたばかりだから、おまんこ敏感で、あっ、あ、あ、あ、あ、あ、おちんちんがおまんこの奥ズンズン
付いてきて、もうイっちゃいそうだよお……。あ、あ、あ、あ、あんっ、あふう、あん、ん、ん、ん、んん、んん、んあ
ん、あ、あん、騎乗位とは違うところ、おちんちんで擦られて、あ、ああ、ああ、ああ、気持ちいいよお……。あっ、
あっ、あっ、あんっ、あんっ、おちんちんからでる我慢汁とおまんこからでるまん汁が混ざってぐちゅぐちゅいやらしい
音がしてる……。それにきみが腰を激しくふるから、きみの腰とわたしのお尻がぶつかってパンパン音がしてるのもすご
いエッチだね……。あ、あんっ、あ、ああ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あんっ、あ、あ、あっあ、あ、あ、あ、あんっ、
あん、ん、ん、ん、んあ、んああ、あ、ん、ん、ん、んあ、あああ、イ、イキそう、わたしいっちゃいそうだよお……。
きみはまだなの？わ、わたしだけ先にイっちゃいそう……。あ、あ、あっ、あ、あ、あ、あんっ、ん、んあ、ん、ん、あ、
あんっっ、イ、イく、イっちゃう、イっちゃう、バックで突かれまくってイっちゃう、あ、あ、あ、あ、イく、イくイく
イっくううううう！！

一元に戻って

まひる はあ、はあ、あ、ああ、わたしだけイっちゃてごめんね。気持ちよ過ぎて……。きみがあんなにおまんこ突くからあ……。

一主人公に接近して

まひる きみはまだだよ。最後は正常位できみの顔をみながらセックスしたいな。おちんちん入れて。わたしの顔見ながらおちんちんでおまんこ突いて。あっ、あっ、あああ、おちんちんきたあ。きみのおちんちん感じるよ。ああ、あ、あ、あ、あ、ああ、ねえ、チュウしよ、チュウしながらしよお……。ちゅっ、れろれろ、ぺろぺろ、ちゅっ、ちゅじゅちゅじゅ、じゅずじゅず、ちゅぱっ、チュウしながらだともっと気持ちいいね。あ、あ、あ、あああ、あ、あ、あ、あんっ、あんっ、あんっ、ひゃあああ、いきなり、乳首なめてえっ、あ、あ、あ、あんっ、ん、んん、んはあ、きみはやっぱわたしのおっぱいが好きなんだね……。好きなだけおっぱい舐めてっ、あ、ああ、あ、あ、あ、あ、あ、いい、いいよお、おっぱいしゃぶられながらエッチするの、あ、ああ、あああ、またイっちゃいそう、きみは？きみももうイキそう？あ、あんっ、あ、あ、あ、あ、いいよ、そのままわたしのおまんこの中に精子出してっ、中出ししてっ、あ、あんっ、あ、あ、あ、あ、あ、あああんっ、あんっ、わたしの子宮にきみの精子注ぎ込んでっ、あ、あ、あ、あ、あ、気持ちいいっ、好き、きみのこと好きだよお、好き、好き、好き、好き、あ、ああ、激しいっ、あ、あ、あんっ、もう出るんだね。あ、あ、あ、きてえ、あ、あ、あ、きみの恋人のおまんこに精子ぶちまけてえ、あんっ、あんっ、あ、あああ、ああ、あんっ、ん、んん、ん、ん、あ、あ、あ、あ、あああああんんんんんんああっ！！

まひる あ、ああ、精子すごい出てるう。はあ、はあ、子宮にきみの精子ドンドン入ってくるの、感じるよ……。すごい、気持ちよかったあ……。

ー主人公の右耳から・接近して

まひる 生でこんなに精子出したんだからきみにはちゃんと責任とってもらうからね。(キス)ちゅっ。

完